

◆ D1 審判の紹介

跳馬：大川由美子
段違い平行棒：野田みき子
平均台：佐原礼香
ゆか：香月あゆみ

◆ 適用規則

採点規則 2022 年版 変更規則Ⅱ・競技情報は 31 号までの適用

◆ 審判会議での確認事項

この大会は、将来を担う選手達の長期的な育成を目的とした大会です。今大会で選手に最も求められていることは美しい姿勢での演技・正確な技の実施であり、高い難度や難しい技に挑戦することを評価する大会ではありません。審判会議では大会の主旨を理解し採点にあたることを打ち合わせます。

◆ D スコアの問い合わせについて

ルール通り、そのローテーションの間で D1 審判に口頭で問い合わせをし、そこで意見の相違がある場合は書面で審判長に提出してください。その種目の最終演技者は次の種目のアップ時間内に対応してください。なお、今大会は検証用の映像はございませんのでご了承ください。

◆ 跳躍板について

スプリング式の跳躍板(セノー社製)を使用

今大会は跳躍板のスプリング「2 1 2」の使用を認めます。

跳馬 ハード「3 3 2」・ソフト「3 1 2」の 2 枚を用意

段違い平行棒・平均台はソフト「3 1 2」をそれぞれ 1 枚用意

スプリングを「2 1 2」にしたい場合は、各種目「3 1 2」の跳躍板のスプリングを外し使用してください。

スプリングを外した場合は、種目を移動する前に必ず外した者が責任を持って「3 1 2」に戻してください。

◆ 練習時間の確認

跳馬は 1 人 2 本

段違い平行棒は 1 人 50 秒

平均台は 1 人 30 秒

ゆかはその組に棄権者がいたとしても 1 組 3 分

◆ 競技エリア内に入ることが許されるコーチの数

競技中、競技エリア内に入れるコーチの数はルール通り選手 1 名につきコーチ 1 名のみです。

◆ 選手、コーチの行動についての確認

- ・不適切なマグネシウムの使用は減点の対象となります。特に跳馬の助走路に炭酸マグネシウムで印をつけることは認められません。印をつける場合はテーピング等を利用し演技後は各自で印をはがしてください。
- ・器械器具の準備については選手が次の種目へ移動するときに開始することができます。
- ・演技を試みなかった場合の国内対応としてD1 審判員からの演技開始の挨拶の後、選手がD 審判に挨拶をし跳躍板や器具に触れることで0.00 として扱います。
- ・出血があった場合には、血液を直接素手で処理することなく速やかに競技役員または救護係へ連絡をしてください。
- ・監督、コーチの行動についても掛け声、合図、応援等で選手の演技を援助することは減点の対象になりますので注意をしてください。

選手の皆さん頑張ってください。